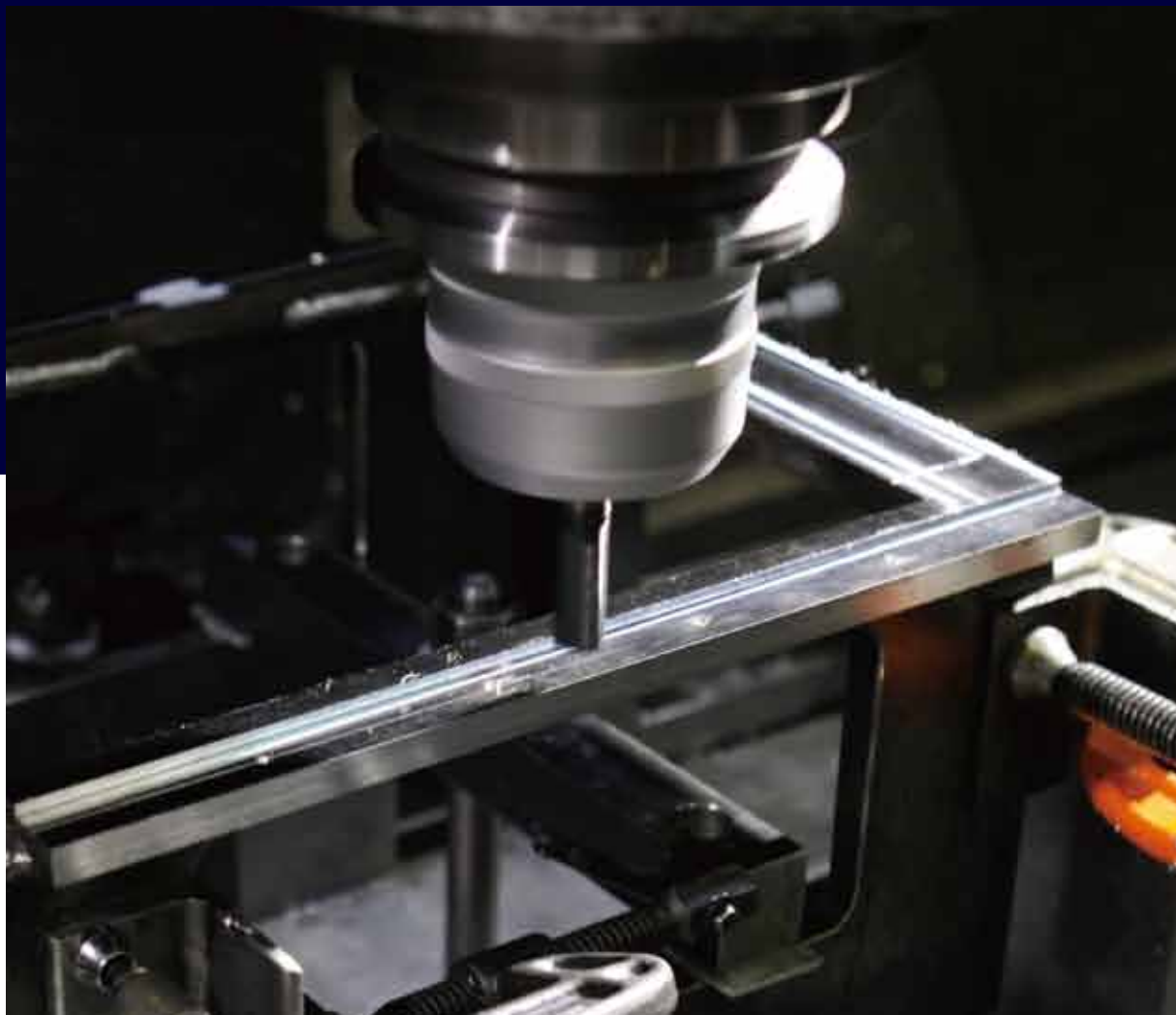


株式会社ニシモト

新設備の導入で生産性の向上を実現

対話型NCフライス機を導入



導入背景

生産能力と加工精度に課題

短納期の案件に対して受注量の増加が求められているが、十分に対応できていない。生産性を高めて受注を可能にする必要があった。また、機械の老朽化で加工精度に問題が生じており、特に切削加工の精度向上が求められていた。さらに組立後の修正で、どこがどう悪いのか、どこをどう修正すればいいのかを把握するまでに時間を要し、そのうえ修正作業にも時間がかかっていた。

実施内容

設備と人を加え、配置を転換

同社が手がける治具は小ロットのオーダーメイドで、その加工にマシニングセンターを使うとプログラムの入力に時間を要する。そこで対話型NCフライス機を導入し、新人を補充した。同機はプログラム入力と加工を一人で行うため分かりやすく、マシニングセンターに比べて早く使えるようになる。新人を同機の担当にして、ベテランの作業員を組立・調整ラインに配置した。

事業成果

作業性が高まり、生産性が向上

導入した対話型NCフライス機は、ひと回り大きなサイズの加工ができるため、作業性に優れている。他の同型機と比較した場合、10%程度は作業性が高い。結果として生産性が確実に向上し、受注も再開した。また、製造工程でのトラブルが減少し、時間短縮に繋がった。



企業から一言

設備投資と人材育成に取り組み、ものづくりの基盤を支える

生産性と加工精度のアップを図るために対話型NCフライス機を導入し、新人を補充しました。同機で一連の技術を得た後は、マシニングセンターを担当してもらっています。一人ひとりが機械加工のマルチスキルを身に付けることで、状況に応じて柔軟に対応できる体制づくりを目指しています。

機械加工の業界全体が人手不足で、一人前の職人に育てるのが難しい時代。ものづくりの基盤が揺らいでいる中、設備投資と人材育成にしっかりと取り組み、その基盤を支えていきたいと思っています。

専務取締役 西本 昂平

車の自動溶接ライン用治具の生産性の向上と短納期化を図る

昭和47年創業の株式会社ニシモトは、57年頃から機械加工での自動車治具の製造に参入。現在は自動車治具を中心に産業機械や工作機械の部品の製造を行っている。同社で手がけている自動車治具は自動溶接ラインで使用されるもので、土台と車の材料を載せる保持部分からなる。ラインでドアパネルや車体の溶接を行う際、保持部分の部品を組み合わせることで、溶接する材料を正しい位置に固定させる役割を担う。自動溶接ライン用治具は車の量産に欠かせないもので、治具の品質と精度が生産コストや車自体の品質に多大な影響を及ぼす。

同社の強みとしては、溶接から機械加工、組立、検査までの一貫生産体制を確立していること、治具に組み立てた状態で精度を保持し、調整する能力があること、各部門に熟練の作業員がいることが挙げられる。こうした強みを生かし、短納期で製品を納入しているが、取引先からはさらなる納期短縮の要求が強い。同社は製造依頼が増加傾向にあるため、生産能力を高める必要性に迫られている。一方で切削精度の向上や修正・調整工数の削減による納期短縮が必要だと考えている。そこで新設備の導入と人材確保で課題の解決を図った。



事業者の概要

代表者名	西本 克寛
設立年月	昭和55年12月
所在地	〒712-8011 岡山県倉敷市連島町連島1955-2
TEL/FAX	TEL.086-465-2754 FAX.086-465-8971
URL	http://www.24moto.co.jp/
資本金額	1,200万円
従業員数	18人
業種	一般機械器具製造業
事業計画名	対話型NCフライス機導入による自動車溶接ライン用治具製造事業の拡大